

作成日 2025年11月3日

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

製品の名称  
製品コード

リゾチーム結晶化キット  
EL009-01  
キットの構成

①リゾチーム  
②リゾチーム溶解用緩衝液  
③リザーバー

供給者の会社名  
住所  
電子メールアドレス  
推奨用途及び使用上の制限

合同会社eLANT  
大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル 29階 1-1-1号室  
info@elant.co.jp  
試験・研究以外に使用しないでください

2. 危険有害性の要約

GHS分類  
物理化学的危険性  
健康に対する有害性  
環境に対する有害性  
GHSラベル要素

区分に該当しない  
区分に該当しない  
区分に該当しない  
  
絵表示（ピクトグラム）  
注意喚起語  
危険有害性情報  
注意書き  
安全対策  
応急措置  
保管  
廃棄  
他の危険有害性

該当なし  
該当なし  
該当なし  
該当なし  
該当なし  
該当なし  
該当なし  
該当なし  
該当なし

3. 組成及び成分情報

①リゾチーム  
化学物質・混合物の区別

単一物質

組成物質名	CAS登録番号	化審法官報公示整理番号	安衛法官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲(%)
リゾチーム	12650-88-3	N/A	N/A	=<100

②リゾチーム溶解用緩衝液  
化学物質・混合物の区別

混合物(水溶液)

組成物質名	CAS登録番号	化審法官報公示整理番号	安衛法官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲(%)
水	7732-18-5	N/A	N/A	<100
酢酸	64-19-7	(2)-688	公表	<0.2
酢酸ナトリウム	127-09-3	(2)-692	公表	<0.2

③リザーバー  
化学物質・混合物の区別

混合物(水溶液)

組成物質名	CAS登録番号	化審法官報公示整理番号	安衛法官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲(%)
水	7732-18-5	N/A	N/A	<100
酢酸	64-19-7	(2)-688	公表	<0.25
酢酸ナトリウム	127-09-3	(2)-692	公表	<0.1
塩化ナトリウム	7647-14-5	(1)-236	公表	5.5

4. 応急措置

吸入した場合：  
皮膚に付着した場合：  
眼に入った場合：  
飲み込んだ場合：  
応急措置をする者の保護に必要な注意事項：

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸が弱かったり止っている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。必要に応じて医師に連絡する。  
直ちに多量の水と石鹸で洗う。必要に応じて医師に連絡する。  
直ちに多量の水で洗い流した後、速やかに医師の処置を受ける。コンタクトレンズを外せる場合は外し、さらに洗浄を行う。  
水で口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。  
医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。  
個人用保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：  
使ってはならない消火剤：  
火災時の特有の危険有害性：  
特有の消火方法：  
消火活動を行う者の特別な保護具及び  
予防措置：

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。  
特になし  
熱分解は刺激性で有害性のガスと蒸気を発生するおそれがある。  
①特になし  
②、③容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は、風上から行う。初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。  
個人用防護服を着用すること。消防士は自給式呼吸器及び消火設備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び  
緊急時措置：  
環境に対する注意事項：  
封じ込め及び浄化の方法及び機材：  
回収、中和  
二次災害の防止策

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。  
作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。  
漏出した製品が、河川などに排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。  
①飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。  
②、③乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する  
特になし  
環境規則に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い  
技術的対策：  
注意事項：  
安全取扱い注意事項：  
混触禁止物質：  
安全な保管条件：

①強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。  
②、③強塩基との接触を避ける。局所廃棄装置を使用すること。  
容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。  
皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。  
②、③みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取扱う。  
①強酸化剤  
②、③強塩基  
①容器は遮光し、冷蔵庫(2～10℃)に密閉して保管する。

安全な容器包装材料：		②、③直射日光を避け、喚起のよい場所(25℃以下)に密閉して保管する。 ①ガラス ②、③ポリエチレン	
8. ばく露防止及び保護措置			
設備対策：	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。		
ばく露限界	酢酸 64-19-7 日本産業衛生学会	TWA:10 ppm OEL TWA:25 mg/m³ OEL	
	管理濃度 作業環境評価基準 米国産業衛生専門家会議(ACGIH)	N/A STEL:15 ppm TWA:10 ppm	
呼吸用保護具：	防塵マスク		
手の保護具：	化学防護手袋		
眼、顔面の保護具：	側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)		
皮膚及び身体の保護具：	長袖作業着		
適切な衛生対策：	産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。		
9. 物理的及び化学的性質			
物理的状态	①粉末		
物理状態：	②、③液体		
色：	①白色～わずかにうすい黄色 ②、③無色		
臭い：	データなし		
融点・凝固点：	データなし		
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし		
可燃性：	データなし		
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし		
引火点：	データなし		
自然発火点：	データなし		
分解温度：	データなし		
pH：	①3.0 - 5.0 (25℃) ②4.45 - 4.55 (25℃) ③3.95 - 4.05 (25℃)		
動粘性率：	データなし		
溶解度：	①水：溶けやすい。エタノール、アセトン：難溶。		
n-オクタノール／水分配係数 (log値)：	データなし		
蒸気圧：	データなし		
密度及び／又は相対密度：	データなし		
相対ガス密度：	データなし		
粒子特性：	データなし		
10. 安定性及び反応性			
反応性：	データなし		
化学的安定性：	①光により変質するおそれがある。 ②、③推奨保管条件で安定。		
危険有害反応可能性：	通常の処理ではなし		
避けるべき条件：	直射日光や高温を避ける。		
混触危険物質：	①強酸化剤 ②、③強塩基		
危険有害な分解生成物：	①窒素酸化物、硫酸酸化物		
(一酸化炭素、二酸化炭素及び水を除く)			
11. 有害性情報			
急性毒性：	①データなし ②、③酢酸 経口 LD50 経皮 LD50 吸入 LC50 急性毒性(経口)分類根拠 急性毒性(経皮)分類根拠 急性毒性(吸入-ガス)分類根拠 急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠 急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠 急性毒性(吸入毒性-ミスト)分類根拠	3310 mg/kg (Rat) 1060 mg/kg (Rabbit)	
皮膚腐食性／刺激性：	①データなし ②、③酢酸	NITEのGHSに基づく。	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	①データなし ②、③酢酸	NITEのGHSに基づく。	
呼吸器感受性：	①データなし ②、③酢酸	NITEのGHSに基づく。	
皮膚感受性：	①データなし ②、③酢酸	NITEのGHSに基づく。	
生殖細胞変異原性：	①データなし ②、③酢酸	NITEのGHSに基づく。	
発がん性：	①データなし ②、③酢酸	NITEのGHSに基づく。	
生殖毒性：	①データなし ②、③酢酸	NITEのGHSに基づく。	
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	①データなし ②、③酢酸	NITEのGHSに基づく。	
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	①データなし ②、③酢酸	NITEのGHSに基づく。	
認識上の有害性：	①データなし ②、③酢酸	NITEのGHSに基づく。	
12. 環境影響情報			
生態毒性：	①データなし ②、③酢酸 藻類/水生植物 魚 甲殻類	N/A LC50：Pimephales promelas 79 mg/L 96h EC50：Daphnia magna 65000 µg/L 48h	
残留性・分解性：	利用可能な情報はない		
生態蓄積性：	利用可能な情報はない		
土壌中の移動性：	利用可能な情報はない		
オゾン層への有害性：	利用可能な情報はない		
その他のデータ：	②、③酢酸		

	水生環境有害性 短期(急性)分類根拠 水生環境有害性 長期(慢性)分類根拠	NITEのGHSに基づく。 NITEのGHSに基づく。
1 3. 廃棄上の注意		
残余廃棄物： 汚染容器及び包装：	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)及び排出基準に従い適切に処理する。 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)及び排出基準に従い適切に処理する。	
1 4. 輸送上の注意		
国際規制 国連番号： 国際規制 海上規制情報： 航空規制情報： 陸上規制情報： 国内規制 陸上規制情報： 海上規制情報： 航空規制情報： 緊急時応急措置指針番号 特別な安全上の対策：	—  ADR/RID 規制されていない IMDG 規制されていない ICAO/IATA 規制されていない  規制されていない 規制されていない 規制されていない — 運搬に関しては容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損のないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。	
1 5. 適用法令		
労働安全衛生法 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 毒物及び劇物取締法 化審法 消防法 輸出入貿易管理令 海洋汚染防止法	①皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項) 非該当 非該当 非該当 非該当 非該当 非該当 有害液体物質(Z類物質等)(施行令別表第1)	
1 6. その他の情報		
本データシートは試薬に関する一般的な取り扱いを対象にしたものであって、特殊な取り扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。 記載内容のうち、含有量・物理化学的性質の値は保証値ではありません。 また、本記載内容は新しい知見によって改訂されることがあります。		
[注意] 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。		